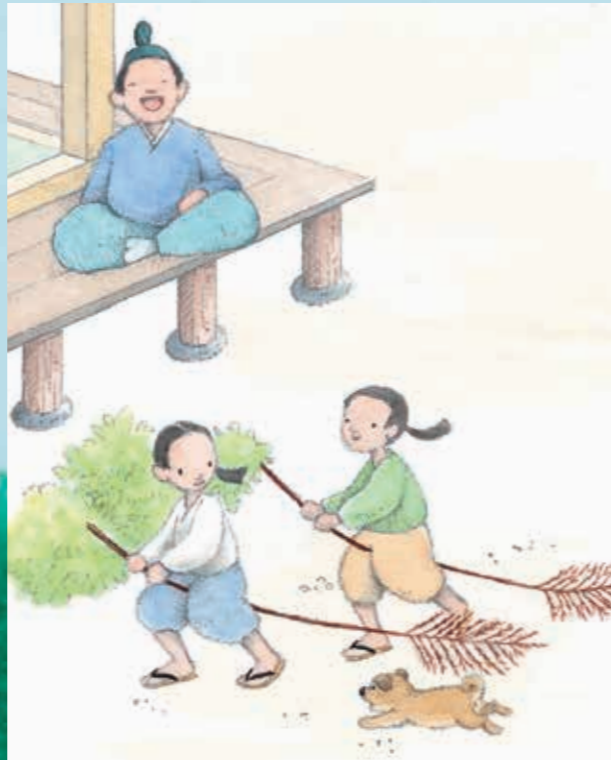


じょうもん
縄文

狩りや漁をしたり、木の実をとったりして生活をしていた。

へいあん
平安



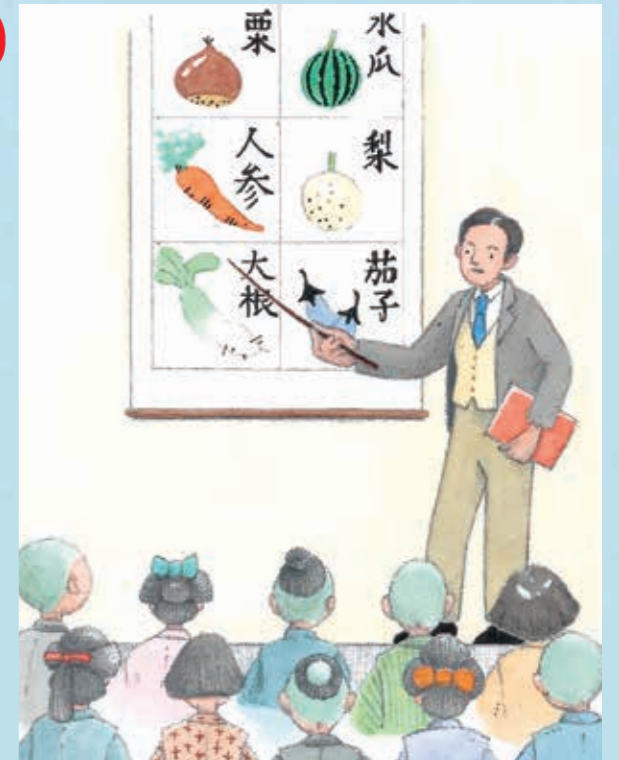
一本の木を馬に見立てて、またがって遊ぶ子どもたち。これも竹馬遊びといった。

えど
江戸



このころの学校は寺小屋。通う子どもの年齢はばらばらだった。

めいじ
明治



外国の文化が入りはじめた。学校制度の基礎ができる。

しょうわ
昭和



戦争が終わり、経済が成長してきたころ。めんこ遊びは当時人気だった。

たいしょう
大正

新しい文化や自由な考えかたがではじめた。



むかし いま 昔から今へ じだい つづ 時代は続いてきた

おおむかし こ おお いま
大昔の子どもたちが大きくなって、おとなになって、その子どもが生まれて……、
かぞ 数えきれないほどくりかえして、わたしたちへとつながってきた。
それは、大きな川のような、静かで力強い流れだ。
そしてこれからもつづいていく。